

AX/DX時代を生き抜く 組織開発法

～A社&B社のリーダーシップ開発からの組織開発ストーリーに学ぶ～

株式会社HRファブラ 代表取締役 山本 紳也

目次

第1章 AX/DXで加速する変化の時代

——「正解が見えない」ことが当たり前になる

- ノーノーマル時代の到来
- 「成功の鍵はカルチャーだ」

第2章 AX/DX時代に不可欠な組織開発

—— AIと向き合ったとき、最初に試されるのは「組織の成熟度」

- 組織のあり方の問題
- 動き続けるための4要素
- 循環の場をつくるリーダー

第3章 組織開発はリーダーシップ開発から

—— 解を持たない時代に「場」をつくれるか

- 成功体験や常識は過去のもの
- リーダーシップを「層」で開発

第4章 A社のケース：リーダーシップ開発から組織開発

—— AX前夜、組織の「場」をつくり直す挑戦

- ① AX前夜に感じていた違和感
- ② 制度やDXではなく、「人と組織」に向き合うという選択
- ③ 「優秀者」ではなく、「場をつくる当事者」を選ぶ
- ④ プログラムそのものが「ノーノーマル時代の組織の縮図」
- ⑤ 現場で起き始めた、小さな変化
- ⑥ 見えてきた成果と、次の課題

第5章 B社のケース：グローバルリーダーシップ開発からの組織開発

—— 多様性と距離のなかで、「共に考える場」をどうつくるか

- ① グローバル企業ならではの違和感
- ② 技術ではなく、関係性に目を向ける
- ③ 国籍や役職を超えて集められたリーダーたち
- ④ プログラムで起きた「対話の質」の変化
- ⑤ グローバルな現場への波及
- ⑥ 見えてきた成果と、残された課題

第6章 組織開発とAIの親和性

—— AX時代に問われる「人と組織の成熟度」

- 相互に補完し合う関係
- 問いを生み、向き合う



山本 紳也
(やまもと しんや)

株式会社HRファブラ 代表取締役 組織人事コンサルタント 組織変革ファシリテーター
一橋大学、筑波大学、上智大学、立命館アジア太平洋大学 非常勤教授/講師

組織人事コンサルタントとして30年以上従事。うち15年間は、大手総合コンサルティング会社のPwCでパートナーとして組織人事コンサルティンググループをリード。これまでサポートした企業数は数百社、研修・ワークショップ・コーチングで関わった人は7,000名を超える。グローバルビジネスの組織人事にも精通し、これまでビジネスで関わった国は30ヵ国以上、一緒に働いた人は約60ヵ国。プライベートで、SNSでつながっている“友達”も40ヵ国を超える。組織人事、人材マネジメント全般、組織開発、リーダーシップ開発等に関わる執筆・講演も国内外で多数。 <https://hrfabula.co.jp/>

著書：『ノーノーマル時代を生き抜く リーダーシップの教科書』（クロスメディアパブリッシング）、『外国人と働いて結果を出せる人の条件』（幻冬舎）、『ジョブ型vsメンバーシップ型』（共著、中央経済社）、『人事の本気が会社を変える』（経営書院）、『新任マネジャーの行動学』（経団連出版）他